



日本共産党 北区議会議員

No.52 2023.11 月号

せいの恵子区政レポート

日本共産党北区議員団

〒114-8508

王子本町 1-15-22

<http://keiko-seino.com> mail@keiko-seino.com

ご相談は
お気軽に

070-3531-0812

北区議会健康福祉委員会管外視察

10月24・25日の両日、健康福祉委員会の管外視察で愛知県豊田市と名古屋市を訪れ、市の担当者からお話を伺いました。今後、北区の施策にも活かしていきます。



★豊田市

地域特性に応じた住民共働による健康づくり
「きらきらウエルネス地域推進事業」

豊田市では 28 中学校区ごとに担当保健師を配置し、地域特性を把握するために「地域診断」に取り組み、これらをもとに地域の特性に応じた健康づくりを市民と共働で推進する「きらきらウエルネス地域推進事業」と地域の健康づくりボランティアである「ヘルスサポートリーダー」の養成に取り組んでいます。

28 の中学校区に保健師を配置することで、地区担当保健師の存在と役割が明確化され地域に浸透し、健康づくりをはじめ地域特性に応じた支援を行っています。保健師も豊田市では 84 人おり、行政として住民の健康づくりを本気で行的という姿勢を感じました。

★名古屋市

名古屋市フレイル予防ポイント & 見守りアプリ
「フレポ&見守り」

名古屋市でも、新型コロナウイルス感染症の影響により、高齢者の外出機会の減少が課題となるとともに、対面での見守り活動が困難となりました。実態調査を行い、フレイル割合が上昇していたことや、スマートフォン所持率が約 6 割という結果から、「名古屋市フレイル予防ポイント & 見守りアプリ」(アプリ対象者は 40 歳以上の市民)を活用して、加齢とともに心身活力が低下し、健康な状態と要介護状態の中間段階にあるフレイルを予防するとともに、地域における見守り活動を開始しました。

高齢者のスマートフォンの操作サポートなどの課題はありますが、運用を継続、周知することで 40 歳からの特定健診の受診率の増加や健康意識の向上につながるなど期待が出来る事業であると感じました。

北区議員団ニュース 秋号ができました



北区議会第 3 回定例会の内容を報告する、日本共産党北区議員団ニュース秋号ができました。本会議質問や、7 日間にわたる決算特別委員会での論戦を紹介しています。ぜひお読み下さい。

「名古屋市フレイル予防ポイント & 見守りアプリ」
フレポ&見守り
2023年2月1日公開

フレイル予防ポイントがたまる! 高齢者で見守りもできて安心!

【利用条件】
アプリ対象者 40歳以上の名古屋市民
利用料 無料

※年度ごとに更新し、内容が変更される場合があります。アプリの無料公開は、ダウンロード時に利用規約の同意が必要となります。

フレイルとは?
フレイルとは年齢によって心身の機能が衰えてきた状態を指します。早めに気付いて対策をすることが大切です。フレイル見守りアプリを活用して、フレイルからの気づきや、心のケアなどの健康支援が受けやすくなります。

名古屋市フレイル予防ポイント事務局 03-4333-4016
〒114-8508 王子本町1-15-22
Eメール freil@keiko-seino.com
ホームページ <http://www.city.nagoya.jp/health/freil/>
【編集主任】名古屋市健康福祉局健康増進課地域ケア推進課 事業推進課長 株式会社NTT

議会の休会中に、個人視察にも行ってきました

★千葉県館山市

婦人保護施設 「かにた婦人の村」

かにた婦人の村は、今よりも差別や偏見が強かった時代に、社会生活を営むうえで困難な問題を抱えて行き場を失った女性たちが共に暮らす「村」として共同体をつくり、その中で支え合いながら安心して暮らすために立ち上げた施設です。日本で唯一の婦人保護長期入所施設として、とくに回復に時間のかかる困難さを抱えた女性に、手芸・陶芸・農園・製菓など、さまざまな日中活動の場を提供しています。

現在、施設の老朽化に加えて、居住棟や作業棟などが離れていて高齢者や障害者の移動が難しいことや、個室がないなど時代に合わない部分もあり建て替えを行っています。しかし、資材や人件費高騰の影響を受け、当初の建設費が大幅に増額となり、国や自治体の補助金だけでは足りず、寄付の呼びかけも行われています。

私は、かにた婦人の村の創立からの理念や活動を知り、特に困難を抱える女性の中でも知的障害や精神障害を持つ方を受け入れ、それぞれの人に寄り添う支援のもと、自然の中で傷を癒し、自立に向けて生活を共にしているみなさんの姿に感銘を受けました。



上/ 壁に飾られている入所者作成の手芸作品

右/ 村の中にある教会。日曜日には礼拝が行われる



山崎たい子区議（左）、宇都宮ゆり区議（右）とともに。手にしているのは入所者が作ったトートバック



上/ 楽器演奏中の子どもたちと一緒に（写真は施設の許可を得てアップしています）

下/ スタッフの方（後列2人）と

★埼玉県蕨市

重心放課後デイ「きいとすまいる」

重心型放課後デイサービスとは、6才～18才までの重症心身障害や医療的ケアが必要な子どもが、放課後や夏休みなどに利用できる福祉サービスです。

訪問した日は5人の子どもたちが学校から帰ってきて、検温、おやつタイムを済ませ、楽器の演奏のプログラムに。スタッフのみなさんのチームワークの良さ子どもたち一人ひとりの個性や特性を大切にしたり関わりが素晴らしい。そして何より子どもたちがニコニコと笑顔でリラックスしている様子に心が温まる。私も一緒に時間を共有させて頂きほっこりしてしまいました。保護者も子どもたちも安心して放課後の時間が過ごせるこのような施設は本当に必要です。施設運営が安定して行えるよう、北区でも要望していきます。

